

用土地区子どもを守る会 ～地域に住む児童生徒の安全を見守る取組～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内小学校運営協議会委員数)	地域学校協働活動
寄居町立 用土小学校	用土小学校学校運営協議会 平成30年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 18名 5名 地域コーディネーター 1名 1名	用土小学校 地域学校協働活動



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

用土地区子どもを守る会は、地域に住む児童生徒の安全を見守る組織である。
平成16年の2月に発足した。
きっかけは、用土地区で不審者情報が続き、子どもたちの安全を守るための地域の組織ができないかということが、当時の用土地区選出の町会議員、区長会長、PTA会長、民生児童委員、校長等の間で話題となったことが発端である。

目標や目指す姿(学校)

家庭・地域と連携し、児童が「わかった、できた、学校が楽しい」といえる、安心して学べる学校

目標や目指す姿(地域)

地域の大人が学校と一体になって、子供たちを育てる用土地区



用土小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- 用土地区区長会長
- PTA会長
- PTA顧問
- 小中学校校長
- 民生児童委員長
- 公民館長
- スポーツ少年団指導者
- 学童職員
- など、計 **10** 名で構成
- 年間平均 **5** 回程度開催

効果的な運営の工夫

学校運営協議会は、地域の声を積極的に生かし、情報提供に努めながら、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めている。
学校と地域住民との連携や協力の推進により、学校を支えている。
学校運営協議会の議題には、必ず「用土地区子どもを守る会」の活動内容等も取り上げている。

用土地区子どもを守る会の会員は、用土地区住民全体である。用土地区子どもを守る会会長を中心に、地域学校協働活動推進員として公民館長、民生児童委員長、区長会副会長、PTA会長等がいる。学校運営協議会のうち5名が、地域学校協働活動推進員にも所属し、その活動に参加している。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

各地区における通学路の点検や、防犯意識のさらなる向上が必要であると考え、①のぼり旗の必要数の把握や通学路の安全確認を区長に依頼することとした。②古い旗との交換や新規設置をしたり、通学路の除草作業をしたりして、各地区の防犯意識を高めることとした。また、通学路の危険箇所について、町役場や警察に改善要望を行うこととした。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

各地区の通学路等にのぼり旗を設置し、防犯意識を高めている。通学路の除草作業を行う際や登下校の見守り活動中に危険箇所について把握し、区長へ報告するようにしている。のぼり旗の設置や除草作業、危険箇所の把握は、主に区長、道路・衛生委員、PTA地区役員が行っている。



用土地区体育祭でのパレード

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校運営協議会の5名も、地域学校協働活動推進員として所属し、活動に参加している。地域学校協働活動を通して明らかになった課題等を、学校運営協議会ですみやかに議論し、改善へと繋げている。一例として、地域学校協働活動を通して、地区ごとに通学路の安全点検の様子や危険箇所を洗い出し、その改善策を学校運営協議会で協議し、町や警察等に要望を出している。さらには、出された各地区の内容をまとめ、次回の全体会議の資料として配付し、情報を共有している。

取組

成果・効果

<子どもにとっては>

地域の人と顔見知りになり、地域の人への感謝の気持ちをもつことができた。地域の人とのふれあいや体験により、豊かな心が育っている。

<学校にとっては>

地域住民や保護者の支援により、児童の安心安全が守られているため、授業に力を注ぐことができた。用土地区の創意や工夫をこらした学校づくりができています。

<保護者にとっては>

地域に子どもが守られているという安心感を持っている。保護者と地域住民との人間関係が構築できた。

<地域にとっては>

学校支援活動をする地域住民の生きがいや生活のほりあいにつながっている。「私たちの方こそ、子ども達から元気をもらっています」という、うれしいお声もいただいた。地域住民と子ども、地域住民同士のつながりも深まっている。

<児童・保護者アンケートより>

◆令和3年度児童アンケート:「登校班、下校班で約束を守り安全に登下校している」R3:3.5 R2:3.5 (最大値4、児童の回答平均値)

◆令和3年度保護者アンケート:「学校は安全、健康に配慮している」R3:93.4 R2:93.6 R1:90.3 (「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と答えた保護者)

<全国学力・新体力テストの結果より>

「用土地区子どもを守る会」の活動により、安心して学べる学校が実現できている。そのため、全国学力・学習状況調査や新体力テストの結果は、高い水準となっている。

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果は、すべての教科(国語・算数・理科)で、全国平均を大幅に上回った。令和4年度「新体力テスト」の結果は、総合評価(男女合計)A+B+Cの割合が91.4%であった。